

平成22年度一般会計補正予算説明資料

10款 教育費

5項 特殊学校費

教育環境課 (内線: 7933)

2目 特別支援学校費

(単位: 千円)

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 特別支援学校教室不足解消事業	0	230,716	230,716			(基金繰入金) 230,716		
トータルコスト	0	233,136	233,136	(補正に係る主な事業内容)				
従事する職員数	0.0人	0.3人	0.3人	用地買収、委託・工事内容の調整、工事監理				
工程表の政策目標(指標)	特別支援学校教室不足解消							
事業内容の説明								
1 事業の概要								
児童生徒数の増加により、1教室を間仕切りで2教室にするなどして教室不足に対応している知的障がい特別支援学校のうち、特に教室不足が著しい県立米子養護学校の校舎を増築し、教育環境の改善を図る。								
[学級数の推計(米子養護学校)]								
区分	H21	H22	H23	H24	H25	H26		
学級数	49	52	52	54	51	53		
不足数※	8	11	11	13	10	12		
※現有教室41と学級数の差								
2 事業の内容								
区分	整備内容							
増築	普通教室(11室)、トイレ、更衣室							
既存校舎改修	職員室の拡大、復旧が必要な転用教室・間仕切り教室の改修							
用地買収	市有地取得(1,264㎡)							
3 事業費(平成22~23年度継続費)								
区分	平成22年度	平成23年度	計					
委託料	34,260	8,387	42,647					
工事請負費	173,704	260,559	434,263					
公有財産購入費	22,752		22,752					
合計	230,716	268,946	499,662					
4 これまでの取組状況								
<ul style="list-style-type: none"> 平成13年度から受験資格を有する者が全入となった高等部を中心に児童生徒数が増加 平成16~17年度に校舎整備を実施 平成18年度以降も想定を超える児童生徒数の増加が続き、徐々に教室不足が発生 不足する教室は、教室の間仕切りや他の目的の部屋を教室に転用することで対応 								
[教室不足の対応状況(米子養護学校 H22年4月現在)]								
対応方法		教室数						
1教室を間仕切りで2教室に区分		8教室						
他の目的の部屋を転用		3教室						
計		11教室						